



「至高のスイカ」を全国に届けたい！

いちごをはじめとした様々な農作物を手掛けてきた風農園の田上堅一さんが、現在勝負をかけているのはスイカ。一年を通してスイカを栽培していて、冬スイカは例年11月頃に収穫しています。

注目すべきは「1株1玉の空中栽培」。しかも、隔離栽培ベッドでの栽培は世界唯一！朝6時から夜7時までハウスで過ごし、虫や病気にいち早く気づいては葉を1本ずつ間引きます。「スイカは、もっとまっすぐ実らせたいんですけどね」と、まるでアート作品を作るかのよう。ツルに至っても美しく巻かせようと、並々ならぬ情熱と時間をかけています。

田上さんは、祖母の勧めで農協に勤めるも、農業には特に興味がなかったのだそう。しかし、自身で米作りを始め、後継者不足に直面した農家の現状を知り、「農業のイメージを変えて、就農者を増やしたい」と脱サラ。独自の栽培方法は試行錯誤の連続ですが、「一生懸命になれることが唯一の才能」と考え、少しずつ結果を出してきました。

「この経験が後に続く人たちの糧になればうれしい」と語る田上さん。失敗を重ねながらも情熱を注ぐ姿と、分厚くたくましい手、そして、甘くて美しいスイカがとても印象的でした。

市民PRチームがInstagramで綴ったなばりの魅力をご紹介します！

投稿を再編集して掲載！フォローしてね▶



nabari_pr



おでかけしませんか？

11/4～28は、運賃無料！
ナッキー号で秋を満喫

ナッキー号は、今年で運行20周年！全ての利用者を対象に、11月4日～28日（平日のみ）は運賃を無料化します。せっかくの機会ですので、車窓から深まる秋を感じながら、ゆったりと紅葉狩りなんかもいいですね。



停留所 総合体育館

建立1300年！夏見廃寺（昌福寺）

停留所 寺田病院

落ち葉のじゅうたん！積田神社



停留所 東山墓園 ふれあいの森前

散策にぴったり！東山ふれあいの森



停留所 二番町

住宅地のオアシス！桔梗が丘10号公園



停留所 新町口

名張川沿いにまち歩き！名張市街地



停留所 名張駅→紅葉谷（路線バス）

車窓から見る紅葉は格別！香落溪

運賃無料期間 11月4日（月）～28日（金）※平日のみ

◎期間中、車内に設置のQRコードからアンケートにお答えいただくと、ナッキー号割引乗車券（有効期間12月1日（月）～令和8年6月30日（日））をプレゼントします。※回答は1人1回まで

問 都市計画室 ☎ 63-7749



運行ルート
時刻表など

じもと再発見
なばりじまん

なばりへようこそ～

オオサンショウウオ愛を叫べ！

～全国のオオサンショウウオ研究者や保護団体が名張に集結～



野生のオオサンショウウオを初めて見たのは赤目四十八滝だというコリコの田中直樹さん。軽快なトークで会場を沸かせた。



令和6年4月からオオサンショウウオの学習をしてきた錦生赤目小学校5年生。「世界的に重要な生き物で、私たちにとって宝物」と発表

オオサンショウウオは私たちの宝物
10月18日・19日にadsホールで「日本オオサンショウウオの会名張大会」が開催され、2日間で延べ1000人が来場しました。特別天然記念物に指定されているオオサンショウウオ。そんな名張の宝物でもあるオオサンショウウオを愛する人たちが全国から集まり、活動成果の発表や、人工巣穴などを巡る生息地見学ツアーなど、まさにオオサンショウウオづくしの2日間となりました。

開催地の取組報告として、錦生赤目小学校の5年生が舞台上に立ちました。オオサンショウウオのカルタを通して生態を学んだことや、授業の一環で実施した野外観察会の様子を交えながら、「私たちの身近なところに住むオオサンショウウオを、これからも大切に守っていききたい」と元気いっぱい発表。会場から温かい拍手が送られました。

ひやわん・もちいポスト出現！

大会に合わせて、名張駅西口・東口のポストをラッピング！見つけてみてね。



アメリカからの参加者も。郷土資料館のプールでオオサンショウウオを間近で観察



滝川の夜間観察会も実施。野生のオオサンショウウオが見つかる歓声があがった。